

1. 学校の教育目標

健康で素直な、思いやりのある子どもに

2. 自己評価に基づいて設定した、具体的な目標や計画

- ・自ら考えたり工夫したりできるように見守りアイデアを提供している。
- ・幼児理解のために保護者と話し合うことがある。

3. 達成及び取組状況

評価項目	取組み状況	結果	理由
・自ら考えたり工夫したりできるように見守りアイデアを提供している。	・幼児の遊びの様子から、興味関心を引き出し、幼児が主体的に試し工夫していけるよう環境構成などを行う。	b	・各クラスにて、遊びのコーナー（環境）を工夫し設定する様子が見られた。しかし、行事等にて中断し継続できていないことも多く、今後の課題として残る。
・幼児理解のために保護者と話し合うことがある。	・一人一人に寄り添いながら、幼児および保護者の困り感などを見逃さないよう配慮し、必要に応じて個別に対応を行う。	c	・幼児一人一人と向き合う姿勢は大いにみられるものの、保護者と個別に話し合い寄り添うことが少なかったように感じた。


4. 今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取組み方法
・自分の保育について課題をもって計画と反省を行っている。	・自らの保育を客観的とらえ、他保育者らと話し合ったり課題をもって日々の生活を送る。
・楽しい雰囲気の中で、安定して遊びこめる環境を構成している。	・子どもも保育者も日々の生活の中で、「楽しむ」「楽しい」「楽しかった」を意識し活動ができるよう環境を構成する。

5. 学校関係者評価委員会の評価

評価		印	評価		印
b	伊藤大蔵		b	原田 祐希	
b	榎本和彦		b	青木 譲	
b	金谷美奈子		b	高橋 佳昭	

6. 設置者の評価

評価		印	
b	里村 学		

a	十分達成されている
b	達成されている
c	取組まれているが、成果が十分でない
d	取組が不十分である